

平成30年11月定例会

予算決算委員会会議録

長 崎 県 議 会

目 次

(12月18日)		
1、開催日時・場所	1
2、出席者	1
3、付議事件	2
4、経過		
分科会長報告	3
採決	6
5、審査結果報告書	8

平成30年11月定例会 予算決算委員会日程（結果）

月日	曜	内 容 等
12月10日	月	分科会・常任委員会
12月11日	火	分科会・常任委員会
12月12日	水	分科会・常任委員会
12月13日	木	分科会・常任委員会
12月18日	火	委員会（分科会長報告・採決）

1 2 月 1 8 日

(分 科 会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所

平成30年12月18日

自 午前11時 0分
至 午前11時17分
於 本 会 議 場

〃 大久保潔重 君
〃 ごうまなみ 君
〃 松本 洋介 君
〃 吉村 洋 君

2、出席委員の氏名

委 員 長 高比良 元 君
副 委 員 長 山本 啓介 君
委 員 宮内 雪夫 君
〃 三好 徳明 君
〃 田中 愛国 君
〃 小林 克敏 君
〃 野本 三雄 君
〃 吉村 庄二 君
〃 中山 功 君
〃 橋村松太郎 君
〃 渡辺 敏勝 君
〃 坂本 智徳 君
〃 瀬川 光之 君
〃 中島 廣義 君
〃 徳永 達也 君
〃 山田 博司 君
〃 下条ふみまさ 君
〃 外間 雅広 君
〃 堀江ひとみ 君
〃 中村 和弥 君
〃 山田 朋子 君
〃 浅田眞澄美 君
〃 西川 克己 君
〃 川崎 祥司 君
〃 前田 哲也 君
〃 深堀 浩 君
〃 中島 浩介 君

〃 山本 由夫 君
〃 宅島 寿一 君
〃 麻生 隆 君
〃 山口 経正 君
〃 近藤 智昭 君
〃 坂本 浩 君
〃 里脇 清隆 君
〃 吉村 正寿 君
〃 大場 博文 君
〃 宮本 法広 君
〃 高橋 勝幸 君

3、欠席委員の氏名

委 員 八江 利春 君
〃 久野 哲 君

4、委員外出席議員の氏名

な し

5、県側出席者の氏名

危 機 管 理 監 豊永 孝文 君
総 務 部 長 古川 敬三 君
企 画 振 興 部 長 柿本 敏晶 君
企画振興部政策監 廣田 義美 君
文化観光国際部長 中崎 謙司 君
文化観光国際部政策監 田代 秀則 君
県 民 生 活 部 長 木村伸次郎 君
環 境 部 長 宮崎 浩善 君
福 祉 保 健 部 長 沢水 清明 君

こども政策局長	園田 俊輔 君	(第1号)
産業労働部長	平田 修三 君	第123号議案
産業労働部政策監	下田 芳之 君	平成30年度長崎県港湾施設整備特別会計補正
水産部長	坂本 清一 君	予算(第1号)
農林部長	中村 功 君	第124号議案
土木部長	岩見 洋一 君	平成30年度長崎県流域下水道特別会計補正予
交通局長	太田 彰幸 君	算(第1号)

教育委員会教育長	池松 誠二 君	平成30年度長崎県港湾整備事業会計補正予算
教育次長	本田 道明 君	(第1号)

会計管理者	野嶋 克哉 君	平成30年度長崎県交通事業会計補正予算(第
選挙管理委員会書記長	井手美都子 君	1号)
監査事務局長	辻 亮二 君	第127号議案
人事委員会事務局長 (労働委員会事務局長兼任)	寺田 勝嘉 君	平成30年度長崎県一般会計補正予算(第4号)
議会事務局長	木下 忠 君	第128号議案

警務部長	伊藤 健一 君	平成30年度長崎県流域下水道特別会計補正予
		算(第2号)

議会事務局職員出席者

総務課長	高見 浩 君
議事課長	篠原みゆき 君
政務調査課長	太田 勝也 君
議事課課長補佐	増田 武志 君
議事課係長	小村あゆみ 君
議事課係長	梶谷 利 君
議事課主任主事	天雨千代子 君

6、付議事件の件名

第121号議案

平成30年度長崎県一般会計補正予算(第3号)

第122号議案

平成30年度長崎県県営林特別会計補正予算

7、審査の経過次のとおり

— 午前11時 0分 開会 —

【高比良委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

なお、久野委員から欠席する旨の届が出ておりますので、ご了承をお願いいたします。

これより議事に入ります。

まず、本日の委員会の会議録署名委員を慣例により、私から指名させていただきます。

会議録署名委員は、田中委員、坂本智徳委員のご両人をお願いいたします。

それでは、本委員会に付託されました、第121

号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第3号）」ほか8件を議題といたします。

これより各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

大場総務分科会長。

【大場総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第121号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第3号）」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

第121号議案のうち関係部分について、「航空対策費」に関し、「香港路線の新規就航を支援し、国際定期航空路線を活用した交流人口の拡大を図る取組とあるが、具体的にどのようなものなのか。」との質問に対し、「今回、計上している予算は、新規路線に対する着陸料や航行援助施設使用料の支援が主なものであり、航空会社の安定的な運航を促すことを目的としているものである。」との答弁がありました。

これに対し、「航空路線を維持するためには、いかに安定的な運航ができるようにサポートしていけるかが課題だと考える。今後は、新規航空会社とも協力し、知恵を出し合い、安定的な運航を目指してもらいたい。」との要望がありました。

以上のほか、総務関係予算全般にわたり熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、よろ

しくお願いいたします。

【高比良委員長】次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

近藤文教厚生分科会長。

【近藤文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第121号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第3号）」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告いたします。

第121号議案について、まず、「特別支援学校施設整備費」に関し、「空調整備工事については、全額繰越明許費を設定し、執行は来年度になるとのことだが、夏までに空調を設置できるのか。」との質問に対し、「設計業務を今年度中に終え、来年度に入り、入札を行う予定としており、早期に工事が完了できるよう進めているところである。」との答弁がありました。

これに対し、「関係団体や企業等と調整を図り、設置が遅れることがないよう取り組んでいただきたい。」との意見がありました。

次に、「長崎県難病相談・支援センター管理運営負担金」の債務負担行為に関し、「指定難病の件数が増加する中、県として今後どのような対応を考えているのか。きめ細やかな対応が必要ではないか。」との質問に対し、「就労等に関する相談支援を強化する必要があると考えている。今後も効果的な対応について、検討を進めていきたい。」との答弁がありました。

これに対し、「支援センターが設置されている長崎市以外の支援体制を充実するため、サテライト設置等についても、検討していただき

たい。」との意見がありました。

次に、「ながさきで家族になろう事業」の債務負担行為に関し、「本県が人口減少対策を進めていく中、婚活サポートセンター事業が果たす役割は大きいと考えている。婚活事業について、今後どのような展開を考えているのか。」との質問に対し、「婚活サポートセンター事業での個人間のマッチングに加え、企業間の交流を推進するほか、機運上昇を図るための広報活動の充実等について、検討を進めているところである。」との答弁がありました。

これに対し、「限られた予算の中ではあるが、今後も積極的に取り組んでいただきたい。」との意見がありました。

以上のほか、文教厚生関係予算全般にわたり、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】次に環境生活分科会長の報告を求めます。

里脇環境生活分科会長。

【里脇環境生活分科会長】環境生活分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第121号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第3号）」のうち関係部分ほか7件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以下、本分科会で論議のありました事項について、ご報告申し上げます。

まず、第123号議案「平成30年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第1号）」について、「公の施設の指定管理者の指定に伴う債務負担

行為の設定」に関し、「今回、指定管理者の公募及び選定を行った港湾課所管の4施設のうち、指定管理負担金がないものが3施設あるが、その理由は何か。」との質問に対し、「長崎港常磐・出島地区及び松ヶ枝地区については、水辺の森にある県営駐車場の収入を指定管理者の収入とすることで、収入額が負担金額と均衡するということから、負担金は「なし」という整理にしている。次に、長崎港元船地区については、駐車場収入が施設の管理・運営にかかる経費より大きいため、逆に納付金という形で県に納めてもらい、負担金は「なし」としている。次に、早岐港ハウステンボスマリーナ及びハウステンボスハーバーについては、過去の収支実績より黒字が見込まれることから、今回の公募より負担金は「なし」としている。また、負担金がある長崎港福田マリーナ及び長崎出島ハーバーについては、今回、負担金額の見直しを図り、減額して計上しているところである。」との答弁がありました。

次に、第124号議案「平成30年度長崎県流域下水道特別会計補正予算（第1号）」について、「債務負担行為として、大村湾南部浄化センター高度処理化工事の事業費が計上されているが、工事の完成予定はいつ頃か。」との質問に対し、「全体で6つの系列の高度処理化工事を予定しているが、まず、そのうちの6系列目の工事を現在行っているところである。今後、1系列から5系列の工事を進め、完成は、平成42年度を予定している。」との答弁がありました。

これに関連し、「事業の総額はどれくらいか。また、県内で高度処理化を行っている処理場はどれくらいあるか。」との質問に対し、「事業総額は、概算で1系列当たり3億円程度と考えており、今後、残り5系列で約15億円を想定している。県内で、高度処理化を行っている処理

場は、佐世保市の西部処理場、波佐見町の処理場など、水質に対して特に配慮が必要な水域を対象とした処理場が稼動しており、他には、大村市の処理場と大村湾南部浄化センターの2箇所が、現在整備中で、長与町においても今後予定されている。」との答弁がありました。

以上のほか、環境生活関係の予算全般にわたり、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、環境生活分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】次に農水経済分科会長の報告を求めます。

山口農水経済分科会長。

【山口農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第121号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第3号）」のうち関係部分ほか4件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告いたします。

まず、第121号議案のうち関係部分について、「食品加工センター施設整備費」に関し、「大村市に整備が予定される同センターの利用者及び開設にあたっての目標をどのように考えているのか。また、開設に向けて、食品加工センターの機能を十分発揮できるよう、市場リサーチや流通などの専門家の知見も、踏まえていくべきではないか。」との質問に対し、「生産者、食料品製造業者等、幅広い活用を考えており、利用件数年間700件、そのうち試作件数年間50件を目標としている。より食品産業の振興につな

がるセンターとなるよう、今後とも、専門家などの意見を聴いていきたい。」との答弁がありました。

これに対し、「効果的な支援で加工品の付加価値を上げ、地元企業の業績を伸ばしてほしい。」との意見がありました。

次に、「県営漁港水産基盤整備費」に関し、「水産流通基盤整備工事の繰越理由の一つに、関係者との協議に時間を要したとあるが、この案件での協議は何年続いているのか。また、今後の対応をどの様に検討しているのか。」との質問に対し、「平成24年度から現在まで交渉を続けている。臨港道路計画の法線上にある支障物件のため、計画法線を変更することなどを現在、検討しているところである。」との答弁がありました。

次に、「ため池等整備費」について、「県内には、ため池が何箇所あるのか。また、整備が必要なため池について、今後どのように対応していく予定なのか。」との質問に対し、「県内には、ため池が3,378箇所あり、そのうち何らかの対応が望まれるのは105箇所である。この105箇所のうち、10か年計画で77箇所を対応予定で、そのうち66箇所を2020年度までに着手する予定だが、国の補正予算の活用で、対応は可能と考えている。」との答弁がありました。

これに対し、「補正予算の活用も必要だが、危険なため池は早急に整備できるよう、当初予算を増額し、確保すべきではないか。」との意見がありました。

以上のほか、農水経済関係予算全般にわたり、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【高比良委員長】ありがとうございました。

以上で、各分科会長の報告が全て終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑・討論を省略し、直ちに採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【高比良委員長】ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

まず、第127号議案「平成30年度長崎県一般会計補正予算（第4号）」について、採決いたします。

本議案は、各分科会長報告のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成委員起立〕

【高比良委員】起立多数。

よって、第127議案は、原案のとおり、可決すべきものと決定されました。

次に、その他の議案について一括して採決いたします。

各議案は、各分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と叫ぶ者あり〕

【高比良委員長】ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり、可決すべきものと決定されました。

以上で、当委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、11月定例会における予算決算委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

— 午前11時17分 閉会 —

平成30年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	環境 生活	農水 経済
予算議案	第 121 号	平成30年度長崎県一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○
	第 122 号	平成30年度長崎県県営林特別会計補正予算（第1号）				○
	第 123 号	平成30年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第1号）			○	
	第 124 号	平成30年度長崎県流域下水道特別会計補正予算（第1号）			○	
	第 125 号	平成30年度長崎県港湾整備事業会計補正予算（第1号）			○	○
	第 126 号	平成30年度長崎県交通事業会計補正予算（第1号）			○	
	第 127 号	平成30年度長崎県一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○
	第 128 号	平成30年度長崎県流域下水道特別会計補正予算（第2号）			○	
	第 129 号	平成30年度長崎県港湾整備事業会計補正予算（第2号）			○	○

予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

平成30年12月18日

予算決算委員会委員長 高比良 元

議長 溝口 芙美雄 様

記

1 議 案

番 号	件 名	審査結果
第 121 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県一般会計補正予算 (第 3 号)	原案可決
第 122 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県県営林特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
第 123 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
第 124 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県流域下水道特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
第 125 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県港湾整備事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
第 126 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県交通事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
第 127 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県一般会計補正予算 (第 4 号)	原案可決
第 128 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県流域下水道特別会計補正予算 (第 2 号)	原案可決
第 129 号 議 案	平成 3 0 年度長崎県港湾整備事業会計補正予算 (第 2 号)	原案可決

計 9 件 (原案可決 9 件)

委 員 長 高 比 良 元

副 委 員 長 山 本 啓 介

署 名 委 員 田 中 愛 国

署 名 委 員 坂 本 智 徳

書 記 小 村 あ ゆ み

速 記 (有)長崎速記センター